



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)

□ 編集責任者 七井 真人

## ■ 芳工連 賀詞交換会を開催

新春を祝う賀詞交歓会を1月15日 ホテル東日本宇都宮において、芳賀町長見目匡様はじめ来賓多数と会員企業 35社 69名など総勢 77名の参加をいただき盛大に開催しました。

中山克夫総務企画部会長が司会進行を務め、宮崎侑志郎副会長が「経済は決して平穏でないが、新しい時代に向かって我々は互いに力を合わせ、一緒にやろうという力強い賀詞交歓会となるよう願っています」と開会の挨拶を述べました。



宮崎侑志郎副会長の開会挨拶

## ■ 主催者小川審也会長の挨拶

小川審也会長は「日本は2005年から少子高齢化が進行しており、2030年には65歳以上の高齢者は31.8%と予測されています。3人に1人が高齢者という社会です。人口構成が変わり社会制度そのものの改革が必要になっており、働き方も大きく変化していく時期に差し掛かっています。

先進国は既に「成熟社会」に入っていると思いますが、その中でも日本は既にトップランナーになっていると思います。技術、環境、安全、健康、これはどれを取っても先進国でトップクラス。また格差が少なく「豊かな社会」になっている。このような社会では、低成長はやむを得ないことであり、我々はむしろ景気の動向に振り回されることなく変化を捉え、仕事や働き方のクオリティをさらに高めていくことが大切だと思っています。また、これからの日本は先進技術大国でありつつも、昔からの伝統や豊かな自然を残し、うまく融合させて成熟させていくことが、大きな魅力になっていくのではないかと思います。

芳工連では、安全・安心な工業団地づくりの推進を図るべく、4つの部会が会員企業様からのご要望にお応えするかたちで様々な事業に取り組んでいます。今後も芳工連では会員企業相互の絆を深め、より安全・安心な工業団地の実現に向け、今年は更に充実した活動を展開したいと思っています。また、各種事業を通して地域との連携を一層強化できるよう努めて参りたいと考えていますので、昨年同様、町当局ならびに会員企業の皆様に御協力を賜りたくお願い申し上げます」と挨拶しました。



小川審也会長の挨拶

## ■ 来賓祝辞

芳賀町長見目匡様から「常日頃から芳賀町に対してご理解とご協力をいただきお礼を申し上げます。昨年5月18日町長に就任し、将来に向けたまちづくりのため町職員、町議会議員の皆さまと知恵を絞り行政運営にあたっています。企業の利便性や町振興に繋がるよう宇都宮市とともに推進しているLRT事業については、宇都宮ライトレール株式会社を設立することができました。

芳賀工業団地は活気があることから、約20ヘクタール規模で拡大・拡充するよう県と協議を進めています。

過日の県関係部長との協議でも有効性が高いとの意見をいただいているので、今後の推進状況については工業団地の皆さまに情報を提供してまいります。

これまで、芳賀町は農業中心であったことから、全体的には工業団地に対する町民の認識が足りない。特に、将来を担う子供たちに対して、自分の町に世界最先端の研究施設や企業が立地していることを知らせたい。そのため研修受入れなどの御協力をいただき、子どもたちに夢を与えることができれば有難いと思います。

芳賀町は財政力指数が高く不交付団体ですが、これは工業団地立地企業の皆さまのお蔭であります。そのようなことから、行政としても企業の皆さまができるだけ事業運営がしやすい環境を県とともに築きあげていきたい」とご挨拶を頂戴しました。

町議会議長増淵さつき様は「今年は、中国景気の減速に起因する世界同時株安、サウジアラビアのイラン外交断絶、北朝鮮の水爆実験などのニュースが流れ波乱の幕開けでした。国内では社会保障や税の行政手続きで利用されるマイナンバー制度の導入元年となります。日頃、皆さまが企業発展のためご努力される姿には頭が下がる思いです。

議会としても、執行部とともに商工業が発展し魅力あるまちづくりを目指すため、皆さまからのご提言をいただきながら様々な施策・事業を実現できるよう一層努力してまいります」とご挨拶いただきました。

## ■ 祝宴

芳賀町商工会副会長小林信二様による乾杯の発声で祝宴に入りました。名刺交換をきっかけに情報交換が始まり、テーブルごとに談笑の輪が広がりました。

アルコールの力も借りて次第に会場内が和やかな雰囲気になりました。

恒例となった企業スピーチは、役員企業、新規加入企業及び既会員企業から各2社です。代表者6人は3分以内で自己紹介や企業紹介をしました。



見目匡芳賀町長の祝辞



増淵さつき町議会議長の挨拶



小林信二芳賀町商工会副会長の乾杯発声

意外性のある話題やタイムリーなお話を聞かせていただき、今年も大変好評でした。

閉会の言葉は、主山功芳工連理事が担当され、いつもながらの機知に富むスピーチを交え、三本締めでお開きとなりました。



主山功理事の閉会挨拶



三本締め

## ■ 安全衛生部会

### 普通救命講習会を開催

第4回普通救命講習会を1月19日開催しました。前日の大雪による路面凍結で交通渋滞に巻き込まれ、出席が危ぶまれた方もいましたが、14社22名の受講者は3時間の普通救命講習の基本を確りと学びました。

最近各所にAEDが普及していますが、AEDが万能との誤解があり、救急車を待ってAEDを使用するものと理解し、心肺蘇生をしないで救急隊を待つケースも見受けられるとのことです。

身近に普段どおりの呼吸がない人がいる場合、救急車を呼んで到着するまで、応急手当として心肺蘇生をすることが極めて重要となります。その方法は胸骨圧迫による心臓マッサージです。胸の真ん中を、重ねた両手で「強く、速く、絶え間なく」圧迫することで全身に血液を送ります。

受講生は、心肺蘇生訓練人形を使用し、胸部を5cm沈むほど強く圧迫し、1分間に100回の早いテンポで30回連続して絶え間なく圧迫した後、喉の奥を広げて空気を通しやすくするため気道を確認し、人工呼吸を2回行う訓練を交替で実践しました。

今回も消防芳賀分署から3名の救急救命士の皆様に講師を担当していただきました。

前日の降雪で交通事故が多発し緊急搬送でお疲れだったにもかかわらず、熱心に御指導いただきました。

誠に有難うございました。



## ■ 芳賀町賀詞交歓会

芳賀町主催の新春賀詞交歓会が平成28年1月6日芳賀温泉ロマンの湯で開催されました。農商工業の関係者、自治会関係者及び町議会議員など118名が新春を祝いました。芳工連からも役職員9名が参加しました。

見目匡町長は「去年の嬉しい話題として、宇都宮市の力を借りて LRT 事業運営会社設立、特産梨にっこのインドネシア輸出、芳賀中バレーボール部が全国ベスト16進出、などがあつた。

本年は、『躍動する芳賀の町 未来につなげよう』を未来像として、第6次芳賀町振興計画を策定し、LRT 事業や芳賀高校跡地を活用した住宅地造成、新たな工業団地用地の確保、将来を担う人間性豊かなこどもたちの育成など、芳賀町の未来像の実現を図る。

また、梨やコメなどの価値を高めることで芳賀町ブランドを確立し農業振興を図る。さらに、プレミアム商品券発行補助や道の駅はが充実等による商業振興の推進、子育て支援の充実や高齢者福祉のための地域密着型介護施設の整備の検討、交通安全、防犯対策、自然災害への対応などを進める。

芳賀町の魅力や話題を発信しながら、芳賀町がもつ潜在的な魅力を最大限に引き出し、明るい未来を創造したい」と挨拶しました。

来賓の祝辞に続き、乾杯の発声を芳工連の富永英夫副会長が行いました。祝宴では様々な話題で盛り上がり、笑いの絶えない有意義な情報交換の場となりました。



## ■ 工業団地立地企業景気動向調査について

平成27年12月17日付けで景気動向調査を工業団地に立地する全事業所にお願ひしました。回答期限である1月15日までに関係事業所101社のうち50.4%にあたる51社から回答をいただきました。

なお、取り纏めた結果は、先にご案内したとおり栃木県知事との意見交換会において、芳賀工業団地立地企業の景況等に関する実態報告に活用する予定です。

ご多用にもかかわらず、回答にご協力いただきました皆さまに感謝を申し上げます。

### 芳工連日誌

#### 【1月の実績】

- 5日 仕事始め
- 6日 芳賀町賀詞交歓会
- 15日 芳工連賀詞交歓会
- 19日 普通救命講習会
- 22日 団管連幹事会
- 27日 資源ごみ回収

#### 【2月の予定】

- 1日 労務管理セミナー
- 8日 栃木県知事との意見交換会
- 10日 第34回ボウリング大会
- 18日 視察研修会
- 24日 資源ごみ回収